
ネット・ザ・リバー

星竜川 紅零

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ネット・ザ・リバー

【Nコード】

N3970Q

【作者名】

星竜川 紅零

【あらすじ】

20XX年今、世界はネット世界^{リバー}によって成り立って居る…このネット世界で起こる残酷で愉快な歪んだ物語…さあ皆さんは読む勇氣はありますか？

リバーの世界（前書き）

この物語は、私星竜川 紅零の心の歪みでもあります。なのでかなり歪んだ物語になると思われます。では、気を付けて…

リバーの世界

ネット世界^{リバー}この世界では沢山のプレイヤーが居り今日の前を通って行ったネコ耳女にもプレイヤー^{ブラックボックス}が居る。一人一人現在世界で普通に生活しているのだ。この世界の架空都市通称黒箱に今僕は、住んでる。あつ自己紹介！自己紹介！僕は黒崎雨てっ言っんだ。きつとみんな雨の所あめって読んだ？あれはねレインてっ読んだ。何て今まで何回説明しただろ？まあいいさ！楽しめればさあ！『ケタケタ…今日も楽しくなりそうだなあ！この世界には本当興味が尽きないよ…アハハハ』不適な笑いがこの架空都市に響く…。彼はこの架空都市に住み着く闇医者まあ精神のみの世界なのでもっぱら精神科医である。そして基本的には直すのではなく“壊す”のが彼の仕事。顔立ちは中性的な美形で男か女かは伺い知れない。本人曰わく現在世界の顔を忠実に再現しているらしい。『フッフ…散歩でもしよう』今では現在世界同様飲む事が可能に成った砂糖&ミルクたっぷり^のコーヒーを飲み干すと、この街では目立つ白衣を翻しどこかへ歩いていった…

この世界にリアルに入り込む為作られた機械ssこれを頭部に付けるとこのネット世界に来る事が出来る…元々は身体の不自由な人間の為に造られたらしいが今では一人一台の時代だ小型化された物もあり形はさまざまだ。中には何も使わず来ている者も居るとか…最後のは噂だが…。少なくとも僕は此処に生きているただそれだけさ…

散歩してたら最悪な奴に逢っちゃたよ…因縁てっ奴？それは客引きをしてるウサ耳メイド野郎うぜえ『あらー？あなたは雨さん！この前の事まだ覚えてるわよねー』青筋立てながらメイドが殺意の籠もった喋り方をする。『や…やあ！なんの事かなアリッチ？』彼女の名前はアリス・テナ勿論本名ではない。『アハハハその言い方止めてといいましたが？今日こそ殺す！』可愛い見た目に合わず本

性やばすぎ！あれが有無を言わさぬオーラって奴？こう言う時は逃げるが勝ち『ハハハハハまだ捕まって管理局に突き出されるのはまっぴらゴメン何で〜じゃあ…ゴフツ！』看板クリーンヒット 痛くてえなにすんだうさが？ ザンと言う感じで目の前に立つ『今日こそ殺すから…』うわ〜コワ引くわ僕『殺す？まさか君に僕は殺せないよ』何故なら…『これ今回の依頼君の大事な弟に関する事だよ…僕殺せば困るのきみの弟だよ』『何ですかこれ』依頼書類を奪い取り読む…『ふ〜ん仕方ないわ今回は見逃します。』『じゃさようならあー』ガシツと肩を掴まれる。『あれー帰してくれるんじゃ…』『まさか！貴方1人だと弟に何するか分からないから私も手伝うに決まってます。』何言ってるんだコイツ馬鹿か？馬鹿だコイツ！誰かヘルプミー！そして作り笑いから真顔へ変えてから『ねえ分かってんのこの依頼とかから見て僕が裏の人間てっ事位』それに彼女も真顔で答える『はい。勿論です。貴方こそ私が何者が知っているのですか？』今此処に黒箱最悪最強のコンビが生まれた！

リバーの世界（後書き）

初めまして星竜川紅零です！見てくれてありがとうございます！あまり今回は、残酷シーン在りませんでしたねアハハハ？良ければ次回も見てくださいm（＿）m

リバー・ザ・フィーバー（前書き）

アハハハハ楽しいよ！何かを壊すのは何時も楽しいアハハハハハ
！君も一緒にやるかい？ケタケタ…

リバー・ザ・フィーバー

全く何で寄りによって《コイツ》なんだよ…レインの言ったコイツとは、アリス・テナ…彼曰わく彼が一番嫌いなプレイヤーだそうだ。アリス・テナ…彼女はネットゲーム最強と言われたホワイトラビットがプレイヤーだ。この世界では戦う事は可能で鍛えれば強くなり怠ければ弱くなる。だかこの世界では元々プレイヤーはとてつもない力を持っているが皆リミッターが掛かっており対した事は無い。何故この様なリミッターが在るのか？それはこの世界が限り無くリアルだからだ。この世界はネット上の架空世界だか痛覚や感覚がある。そのためプレイヤーどうしが傷つ付け合わないためのリミッター機能と言っわけだ。

しかし彼女はそのリミッターが破壊されある意味最強なのである。^{アリス}しかもゲーム世界最強と言われた者が…。リミッターが何故外れたままなのかは彼女も分からないらしい…。『で！貴方のお家は何処ですか？』『家に来るなあああはあはやっぱり君は苦手なんだあー！』

リバー・ザ・フィーバー（後書き）

アハハハハハ少なかったですね

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3970q/>

ネット・ザ・リバー

2011年1月28日04時44分発行